

南アルプス講座 全3回

南アルプスとつながる私たちの暮らし

開場・受付 13:00/ 開始 13:30

第3回 南アルプスの高山帯 × 動植物

伊那谷の極地、南アルプスの自然

南アルプスの高山帯には、ライチョウをはじめとした北極海周辺と同じ生き物たちが暮らしています。一方その山麓には、ヒマラヤ南部の温暖な地域と共通する自然がみられます。標高差 2900mの自然が育んだ、南アルプスの生物多様性についてお話しします。

日時 2022年2月12日(土) 13:30-15:00

開催方法

現地会場

産業と若者が息づく拠点施設 alla (アルラ)
(長野県伊那市荒井3428番地7)

対象 伊那市にお住まいの方 定員 30名

オンライン会場

定員 100名

・ご自宅等のインターネット環境でビデオ会議ツール zoom を使用して、ご参加をお願いします。
・お申込書に記載のメールアドレスに zoom の情報をお送りします。



講師：四方圭一郎氏

飯田市美術博物館の生物担当学芸員。最近では、南アルプス高山帯での蛾類調査や高山植物の撮影に注力している。蛾と山と酒が好きなのだが、最近ではスマイレハマっている。

⚠️ 新型コロナウイルスの感染拡大等により、現地会場の開催が困難な場合、第3回の講座自体を中止にさせていただく場合があります。(オンラインのみの開催は行いません)

お問い合わせ
お申し込み先

裏面の申込書にご記入いただき、FAX またはメールにて下記にお申し込み下さい。(オンライン参加のお申込みは、メールでのみ受け付けます)

伊那市役所 観光課 エコパーク・ジオパーク推進係

FAX 0265-78-4131

メール sek@inacity.jp

申し込み
期間

2022年
1月12日(水)
～
1月31日(月)

お申込み締切は 12/28 (木) です

第1回 2021/12/4(土)

南アルプスの大地 × 災害

講師 大塚勉氏 (信州大学総合人間科学系 特任教授)

開催 参加者募集は締め切りました

現地会場 | 伊那市役所 501・502 (伊那市民 30名)

オンライン会場 | ビデオ会議ツール zoom (100名)

第2回 2022/1/15(土)

南アルプスの水 × 農業

講師 井上直人氏 (信州大学農学系 特任教授)

開催方法

現地会場 | 伊那市役所 501・502 (伊那市民 30名)

オンライン会場 | ビデオ会議ツール zoom (100名)

南アルプス 講座とは

私たちが暮らす伊那谷は、長い年月をかけて続く南アルプス・中央アルプスの山々の活動や三峰川・天竜川等の川の流れてつくられた大地であり、今も絶えず変化を続けています。そして、その土地の形や性質は、古くから私たちの暮らしの土台となってきました。南アルプス講座では、南アルプスとそこに暮らす生き物や私たちの暮らしとのつながりに着目し、この地域で将来にわたってよりよく生きるために必要なことを考えます。



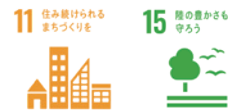
南アルプス（中央構造線エリア）ジオパーク 南アルプスユネスコエコパーク



標高 3,000m 級の山々が連なる南アルプスをつくるのは、日本列島の土台となった地質であり、今なお続く大地の激しい変動や厳しい自然環境は、この地域に特有な景観や文化をつくり出してきました。また、氷河期からの生き残りや南アルプス固有の生き物など、世界的にも貴重な種が多く生息しています。

南アルプス（中央構造線エリア）ジオパーク、南アルプスユネスコエコパークでは、これらの自然環境を将来にわたって保全しながら活用し、私たちの暮らしの持続可能な発展につなげていく活動を行っています。

(左図のオレンジ色が、南アルプス（中央構造線エリア）ジオパーク、塗りつぶし部分が、南アルプスユネスコエコパークのエリア)



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

南アルプス講座 第3回南アルプスの高山帯 × 動植物 申込書

メールでお申し込みの際は、下記情報をお知らせ下さい。

記入日： 月 日

フリガナ			〒
氏名			住所
電話			e-mail
希望会場	現地 ・ オンライン ※ ※現地会場が定員を越えた場合、オンラインでの参加を希望しますか？ (希望する場合、メールアドレス必須) はい ・ いいえ	今回のテーマについて、あらかじめ講師にご質問がありましたら、ご記入下さい	※オンライン会場を希望する方は、必ずご記入下さい

申込書は、一人一枚ご記入下さい。いただいた個人情報は、南アルプス講座の運営のみに使用します。